

様式 A-1  
(FY2018)

平成 31 年 3 月 5 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 沖縄県立球陽高等学校 上地 太子
2. 講師氏名: Dr. Lu Phuong Nguyen
3. 同行者氏名: 久間 裕太郎
4. 実施日時: 平成 31 年 2 月 27 日 (水) 13:40~15:10
5. 参加生徒:  年 生 人、 2 年 生 58 人、 年 生 人 (合計 58 人)  
備考: (例: 理数科の生徒) 理数科の生徒
6. 講義題目: Apply Computational Fluid Dynamics method to simulate the transportation of air pollutants to human and non-human primate airways
7. 講義概要: イントロダクションとして、博士の母国の紹介、科学者になるまでの経緯を説明。研究紹介としては、数値流体力学(CFD)技術を応用し、ヒトを含むほ乳類の気道において、空気流分布と粒子の気道を予測することに成功した。今後、医療をはじめ様々な分野への応用が期待される。
8. 使用言語: 英語
9. 講義形式:
  - (1) 講義時間 60 分 質疑応答時間 20 分
  - (2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講義。実験の様子や、世界の空気汚染に関する動画含む
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
なし 難しい箇所は、英語科職員が通訳した
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
ポキャブラリーシート、日本語による講義概要

10. その他特筆すべき事項:  
講演会終了後も、博士および同行の大学院生の方が、10人ほどの生徒の質問に丁寧に答えてくださり、大変感謝しています。